

平成28年度 公益社団法人 上伊那教育会

総研修会 「仰望の日」

平成28年5月27日（金） 長野県伊那文化会館

【開会・全員合唱 上伊那教育会の歌「仰望」】



【小林 克彦 上伊那教育会長 挨拶（抜粋）】



上伊那教育会は、明治12年、「はじめに子どもありき」「限りなき土着性の追求」「たゆまぬ教師の研鑽」の三つの理念を掲げ、職能研修団体としての道を歩んでまいりました。実に137年間の歩みであります。

すべての事業は、教職員としての自己変革を目指す研修の場です。「教師が変われば子どもが変わる」の原点のもと、自らのあり方を問い返し、ともに学び合い育つ場

あり、その共育文化を次世代へ継承していくための場でもあります。

公益社団法人として5年目の節目の迎えた今こそ、夢を抱いて教職員の道を志した者同士が、仲間と出会い、かかわり合い、その学びをつなげていくことが、真に求められているのではないのでしょうか。

そこで、本年度の上伊那教育会のテーマは「『出会う かかわる つなぐ』—主体的に学び合い続ける魅力ある教育会の創生—」としました。

上伊那教育会がつかないできたものは、自ら求め創ってきた自主的な研鑽にあります。決して押しつけられた研修ではありません。私たちが本気になって学び続ける姿を、自信と自負を持って、大いに発信していこうではありませんか。

そのために、上伊那のすばらしい先生方に 「会いましょう」 事業に参加・参画して 「かかわりましょう」 そして、主体的に学び合い続ける姿を未来に「つないでいきましょう」

【後藤 正幸 信濃教育会長 来賓祝辞（抜粋）】



皆様、おはようございます。お招きをいただき誠にありがとうございます。平成 28 年度上伊那教育会総研修会「仰望の日」が、このように盛大に開催されますことに心からのお祝いを申し上げます。また新たな公益社団法人として5年目を迎えられました上伊那教育会が、小林克彦会長様のもと、確かに歩み出されておられますことを心からお慶び申し上げます。

長い間、大きな課題でありました会員減も、特に上伊那教育会の皆様のご理解とご尽力のお陰で、最近はその歯止めを実感しているところでございます。昨今の教職員数の減少を考えますと、上伊那教育会における信濃教育会会員の減少はこの数年来見ることはありません。いや会員率はむしろプラスに転じていると言っても過言ではございません。今後も更に「教育会、今日行くかい」と、それこそ明るく元気に誘い合っていて、一人でも多くの仲間を増やしていただければ大変心強く思います。

本年度は新たに臨地講習「信濃の国探訪」を立ち上げ、先ずは上伊那の地で開講させていただくことになりました。中心講師に宮下健司先生を迎え、また上伊那の先生方には運営委員としてお力をお借りして、郷土「信濃の国」を舞台に、県内四地区の自然・歴史・民俗を尋ねる4年連続の臨地講習の始まりでございます。これもまた皆様に大きく育てていただければ幸いです。教員の研修は本来、誰でもありません。教師自身がその必要性を思い求め続けていく自律的なものではないでしょうか。上伊那教育会がまた信濃教育会が存在する意義もまさにそこにあります。子どもを前にして知る自らの不足と至らなさへの自覚をまさにエネルギーに変えて、「人から人へ」と明るく元気にさわやかに声をかけ合って、集いましょう。そして共に学び続けましょう。

【会員発表 『箕輪中学校 ICT 教育の実践 ～ICT で授業が変わる 学びが変わる～』】

箕輪中学校 阿部 知之 先生



- ICTを通して授業改善というところが心に残った。子どもたちにとっての視覚支援や工夫ということも授業に是非活かしたいと思った。
- ICT活用で、教師の授業が変わり、子どもたちの学びも変化していく様子をお聞きできて、本当によかったです。自分の授業の中にも取り入れたいと思いました。
- ICTを活用した授業の経験がないので、積極的にチャレンジしてみようと思いました。とても参考になりました。
- ICTの活用が授業力向上や学力向上にとっても有効であるということがわかった。ICT活用方法を学び、授業の中に取り入れていきたいと思いました。
- 支援員の方もいて、ICTを全ての先生が使いこなせ、様々な場面で使用されていることを知りうらやましく思いました。私自身も本校の機器を使いこなせるように学ぼうと思います！

【会員合唱】

☆上伊那教育会合唱団による合唱『あなたの名をよんで』・『聞こえる』

☆全員合唱『信濃の国』



参会者の感想

- 毎年教育会合唱団の皆さんにはすばらしい合唱を聴かせていただいております、今年度も質の高い演奏を聴くことができました。ありがとうございました。
- とても響きのある歌声で素晴らしかった。「聞こえる」は生徒がよく歌う曲であるが、先生方の歌声がまたひと味違いよい手本のように聞こえた。
- 美しい響きにうっとりした。
- 思わず聞き入ってしまいました。先生方の気持ちよさそうに歌う姿が印象的でした。
- 良き伝統を大切に続けてほしいと思います。
- 「信濃の国」を知らない若い世代や県外出身者が増えてきているので、全会員合唱も大事だと思う。
- きれいで澄んだハーモニーに包まれて、とても癒される時間だった。感動した。

【講演】

「魂を揺さぶる、本気教育 ～人を教え伸ばす力は「感動」にあった～」

(株) アビリティトレーニング代表取締役 木下 晴弘 氏



参会者の感想

- 「人のために…」という子どもたちに普段から伝えている内容を、具体的なデータや実例をもとにわかりやすく教えていただきました。自分の生き方にもプラスになるような内容がいっぱいでした。ありがとうございました。
- 翌日、早速クラスの子どもたちに、「一人一人がここにいるだけでうれしいことなんだよ」と話しました。言葉にして伝えることも大切だと思いました。
- 素晴らしい講演会だった。頭で分かっていたことを思い出させていただいた、と同時に今までの悩みがとれて心洗われる時間になりました
- 塾の講師の方々が子どもたちの将来について、ここまで真剣に取り組んで指導されていることにとても感動した。日本という国をつくっていくのは、まさに教育なのだとは再認識でき、有意義な講演だった。
- 講師の選定に力を入れてくださっているお陰で、毎年すばらしい講演をお聞きする機会をいただいている。今年度も最初から引き込まれる内容で、ほかではなかなか聞くことのできない講師の講演を聞くことができありがたい。
- 「勉強は何のために」「自分のために」はおかしいという部分にハッとさせられました。なるほどと思うことが多く、自分の授業の中でも生徒に気づきや発見が生まれるような場面を作りたいと感じました。

先月行われました上伊那教育会総研修会「仰望の日」において受け付けました熊本地震義援金は、皆様の善意で72,635円集まりました。日本赤十字社へ送金させていただきました。

ご協力、ありがとうございました。